

中小企業 とっとり

No.798

2024

7

令和6年7月1日発行

中央会

令和6年度通常総会
「変革の時代！
連携と革新で新たな事業価値の創造」
～地域産業の持続的な産業発展を推進～

この人と語る

鳥取県西部トラック事業協同組合
理事長 川上 和人氏

Contents

中央会	2
役員のご挨拶	4
この人と語る	6
新理事長紹介	7
シリーズ	8
鳥取県の中小企業景況	10
ちいき組合情報	12
INFORMATION	14
中央会の動き	15
大樹生命からのご案内	16



「総会祝賀会」



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>

令和6年度 中央会通常総会

変革の時代！連携と革新で
新たな事業価値の創造

地域産業の持続的な
成長発展を推進



新会長挨拶



今回、五期10年に亘り会長を務められた谷口讓二氏の勇退を受け、後任として重責を担うこととなりました。もとより全国中央会副会長までお務めになった谷口会長に比肩できよう筈もなく、浅学菲才の身ではありますが、皆様方のお力添えを頂く中で、職責を全うする所存でありますのでご支援を賜りますようお願い申し上げます。

奇しくも本年10月には長年の念願でありました新会館が完成する予定です。また、来年には鳥取県中央会は創立七十周年を迎えることとなります。このような年度を中小企業等連携組織の専門支援機関であり、経営革新等認定支援機関としての本会は『変革の時代(とき)！連携と革新で新たな事業価値の創造』を支援活動の重点テーマに掲げ、従来にも増して支援機能の充実・強化を図り、県内産業の振興と地域社会の発展に貢献していく所存です。

さて、我が国経済を取り巻く環境は、コロナ禍を経てようやく明るい兆しが見えるのか期待していたものの、ウクライナ侵攻の長期化や円安等の影響によりエネルギー価格や原材料費が高騰するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

とりわけ、中小企業・小規模事業者は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少など構造的要因による人手不足や事業承継問題、賃上げによる人件費コストの増加に加え、適正な価格転嫁やデジタル化・DX対応、SDGSやカーボンニュートラルへの対応、2024年問題など新たな経営課題に直面しております。

こうしたなか、国においても、エネルギー価格高騰への対応と安定供給の確保、さらには継続的な

質上げを促進するための中小企業等への支援等の施策を講じております。

また、本県におきましても、コロナ後の景気回復さらにはエネルギー・原材料価格上昇等による物価高騰などによる経済の停滞からいち早く県内経済を再生させるため、官民連携により経済再興や人材確保・定着を戦略的に推進するためのプロジェクトを立ち上げるとともに円安・物価高騰克服に向けた取組みへの支援をはじめ賃上げ環境整備への取組みや本県独自の資金繰り支援など各種施策を総動員して、中小企業・小規模事業者の事業継続と経営の持続化、雇用の安定化を進めていただいております。

近年、コロナ禍のなかで事業環境の変化のスピードが非常に速くなり、新しい生活様式、ビジネスシーンが変わって参りましたが、中小企業が持続的に成長発展していくためには、存続と変革への自助努力はもとより、互いの経営資源を補完し合い、共同の力で課題解決に取り組む組合の役割こそが、ますます重要となつて参ります。

相互扶助の精神を理念とした組合組織が、それぞれの力を出し合い、共同事業を通じて課題解決を図り、持続可能性を高めていくためには、今一度現状の取り組みを見つめ直し、進取の気性と事業改革に対する熱意をもって、付加価値を高めることが重要であります。

本会は「自助」の努力のみでは解決困難な事柄の多い中小企業が「共助」「公助」の補完により、厳しい経営環境の変化に対応できるよう、関係機関と連携を密にとりながら更なる地域経済発展のため適進して参りますので、引き続き格別なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

鳥取県中小企業団体中央会

会長 岩崎陽一

「変革の時代！連携と革新で新たな事業価値の創造」

地域産業の持続的な成長発展を推進

新会長に岩崎氏就任、谷口氏は名誉会長へ

本会は、6月19日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において会員の代表者約190名（委任状出席含む）が出席し、令和6年度通常総会を開催、事業報告・収支決算書など原案どおり承認されるとともに、任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に岩崎陽二氏（鳥取フードネットワーク協同組合・理事長）が選出され、谷口譲二氏は名誉会長へ推戴された。

通常総会では、令和5年度事業報告・収支決算書並びに会館建設に係る基本財産特別会計等5議案が原案どおり承認された。

また、任期満了に伴う役員改選により、新会長に岩崎陽二氏（鳥取フードネットワーク協同組合・理事長）が選出されるとともに理事77名、監事3名が選出された。また、総会後の理事会において副会長他役員の選任を行った。

正副会長・支部長は次のとおり

- ▽ 正副会長・支部長は次のとおり
- ▽ 会長 岩崎 陽二氏（新）
（鳥取フードネットネットワーク協同組合理事長）
- ▽ 副会長 森脇 孝氏（再）
（協同組合米子鉄工センター理事長）
- ▽ 副会長 米原 正明氏（再）
（日ノ丸運輸交通協同組合理事長）
- ▽ 副会長 小林 健治氏（再）
（倉吉銀座商店街振興組合理事長）
- ▽ 専務理事 本城 聖一氏（再）
（専従）
- ▽ 東部支部長 嶋田 耕一氏（再）
（協同組合鳥取卸センター理事長）
- ▽ 中部支部長 菅埜 元晴氏（再）
（鳥取県中部トラック事業協同組合理事長）
- ▽ 西部支部長 金田 孝成氏（再）
（協同組合和田浜工業団地理事長）
- ▽ 東部副支部長 木下 貴啓氏（新）
（協同組合鳥取鉄工センター理事長）
- ▽ 中部副支部長 伊藤 孝一氏（再）
（中部砂利生産協同組合理事長）
- ▽ 西部副支部長 川上 和人氏（再）
（鳥取県西部トラック事業協同組合理事長）

前会長谷口譲二氏は、新理事会において名誉会長に推戴された。

また祝賀会に先立って、多年にわたり本会の幹部役員として活躍いただき多大な功績のあった谷口譲二氏に顕功章が贈呈された。総会及び理事会終了後に祝賀会へと移り、岩崎会長が挨拶を行うとともに、来賓を代表して平井伸治鳥取県知事、浜崎晋一鳥取県議会議長よりご挨拶をいただき、来賓多数のご隣席のもと盛大に祝賀会が開催された。（総務部 砂口）

顕功章 贈呈



谷口 譲二氏

平成14年5月に中央会の理事に就任後、22年の長きにわたり県下中小企業の組織化と振興発展にご尽力いただきました。この度の役員改選において、中央会会長を退任された谷口譲二名誉会長に顕功章が贈呈されました。



祝賀会の様子



役員のご挨拶

6月19日、令和6年度通常総会におきまして役員に選任されました。
地域中小企業の振興発展に努力いたしたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

組合等連携組織の専門支援機関 中小企業の経営革新等認定支援機関

会長 岩崎陽一 <small>鳥取フードネットワーク(協)理事長</small>	中部副支部長 伊藤孝一 <small>中部砂利生産(協)理事長</small>	常任理事 竹本利治 <small>(協)ユーラシア山陰理事長</small>	理事 中村隆 <small>智頭街道商店街振理事長</small>
副会長 森脇孝 <small>(協)米子鉄工センター理事長</small>	西部副支部長 川上和人 <small>鳥取県西部トラック事業(協)理事長</small>	常任理事 松本啓 <small>(協)米子総合卸センター理事長</small>	理事 藪田真人 <small>鳥取県化粧品小売協理事長</small>
副会長 米原正明 <small>日ノ丸運輸交通(協)理事長</small>	常任理事 森田桂一 <small>亜細亜未来事業(協)理事長</small>	常任理事 庄司尚史 <small>米子地区生コンクリート(協)理事長</small>	理事 山縣勇太郎 <small>若桜街道商店街振理事長</small>
副会長 小林健治 <small>倉吉銀座商店街(振)理事長</small>	常任理事 全本和由 <small>鳥取県遊技業(協)理事長</small>	常任理事 渡邊昇 <small>境港市循環資源再生利用事業協理事長</small>	理事 吉田峰雄 <small>鳥取市上下水道事業(協)理事長</small>
専務理事 本城聖一 <small>専従</small>	常任理事 木村憲司 <small>光和商工(協)理事長</small>	理事(相談役) 井木久博 <small>(株)井木組取締役会長</small>	理事 森下明男 <small>日ノ丸燃料(協)理事長</small>
東部支部長 嶋田耕一 <small>(協)鳥取卸センター理事長</small>	常任理事 荒井敏博 <small>鳥取県輸出縫製卸工業(協)理事長</small>	理事 澤志郎 <small>鳥取県運輸観光光事業(協)理事長</small>	理事 吉田栄 <small>鳥取県東部トラック事業(協)理事長</small>
中部支部長 菅埜元晴 <small>鳥取県中部トラック事業(協)理事長</small>	常任理事 竹内茂喜 <small>(株)エヌケーシー代表取締役会長</small>	理事 光浪房夫 <small>鳥取県東部式典事業(協)理事長</small>	理事 地原忠実 <small>鳥取県パン(協)理事長</small>
西部支部長 金田孝成 <small>(協)和田浜工業団地理事長</small>	常任理事 真嶋茂 <small>鳥取県商店街(振)連合会理事長</small>	理事 平野敏和 <small>(株)高土木代表取締役</small>	理事 森本省治 <small>鳥取県解体工事業(協)理事長</small>
東部副支部長 木下貴啓 <small>(協)鳥取鉄工センター理事長</small>	常任理事 鶴石健治 <small>やまこつ建設(株)代表取締役社長</small>	理事 民野純男 <small>三協共栄振興会会長</small>	理事 大磯一清 <small>賀露中央海鮮市場(協)理事長</small>

理事 事 八木 俊英 (株)鳥取銀行取締役常務執行役員	理事 事 田村 博信 鳥取信用金庫理事長	理事 事 倭島 昭博 (協)鳥取県鉄構工業会理事長	理事 事 吉川 浩 鳥取県自動車整備(商工)理事長	理事 事 徳田 三明 (協)鳥取総合食品卸売市場理事長	理事 事 寺谷 泰輔 鳥取県中古自動車販売(商工)理事長	理事 事 常田 孝一郎 菌興椎首(協)組台長	理事 事 清水 隆文 未来人材コネクト(協)理事長	理事 事 安東 稔 鳥取県広生美術業協理理事長	理事 事 西根 栄治 (協)鳥取駅前食品市場理事長	理事 事 高橋 俊夫 鳥取本通商店街(振)理事長	理事 事 高橋 哲夫 鳥取県東部地区生コンクリート(協)理事長
理事 事 西村 博文 中部管工事業(協)理事長	理事 事 笠見 和則 倉吉信用金庫理事長	理事 事 衣笠 一彦 (株)衣笠商会代表取締役会長	理事 事 吉岡 佐和子 (株)山陰合同銀行代表取締役専務執行役員	理事 事 水野 正貴 大樹生命保険(株)山陰支社支社長	理事 事 田中 圭介 (株)商工組合中央金庫(鳥取支店)支店長兼米子支店支店長	理事 事 仙道 達也 三井住友海上火災保険(株)山陰支店鳥取支社支社長	理事 事 山根 正樹 鳥取県生コンクリート(工業)理事長	理事 事 森本 泰司 鳥取県鉄筋(協)理事長	理事 事 清水 昭生 (協)千代金属センター理事長	理事 事 諸吉 陽子 (株)ティエスピー代表取締役社長	理事 事 影井 一清 大和建設(株)代表取締役社長
理事 事 稲田 祥悟 鳥取県西部再生資源事業(協)理事長	理事 事 並河 元 (協)さんぞ理事長	理事 事 斉木 健之 鳥取県電気工事業(工業)理事長	理事 事 松浦 啓介 西部建設業(協)理事長	理事 事 森脇 哲雄 境港水産流通(協)理事長	理事 事 西山 篤夫 赤幅鳥取県軽自動車運送(協)理事長	理事 事 河越 誠剛 (協)米子食品工業団地理事長	理事 事 青砥 隆志 米子信用金庫理事長	理事 事 島谷 憲司 境港鮮魚仲買(協)理事長	理事 事 奥森 隆夫 (株)元氣亭ぐるーぶ代表取締役社長	理事 事 春山 貞洙 倉吉資源リサイクル事業(協)理事長	理事 事 沖田 雅浩 三朝温泉旅館(協)理事長
		監事 事 秦野 博行 (協)米子食品卸売市場理事長	監事 事 大川 和彦 鳥取県環境整備事業(協)理事長	監事 事 米村 年博 鳥取県穀物検査(協)理事長	理事 事 濱口 正子 鳥取女性中央会会長	理事 事 岡 空聡 鳥取県中小企業団体中央会青年部会長	理事 事 足立 駿 鳥取県中小企業青年中央会会長	理事 事 濱 勇二郎 鳥取県板金(工業)理事長	理事 事 田村 源太郎 鳥取県酒造(協)理事長	理事 事 住田 孝昭 日野建設業(協)理事長	



〈地区別・選任・50音順〉



物流の発展を一途に目指して ～人材確保など組合員の課題解決に取り組む～

鳥取県西部トラック事業協同組合
理事長 川上 和人さん

鳥取県西部トラック事業協同組合は、昭和59年に設立し、今年で40周年を迎えられました。この度は、川上理事長に組合を取り巻く環境や今後の取り組みなどについてお話を伺いました。

組合創立40周年おめでとうございます。

川上 ありがとうございます。鳥取県西部トラック事業協同組合は、昭和59年12月に設立しました。早いもので、40年経ったのかと思います。時代の流れるスピードがこんなに早いものかと、つくづく実感しております。設立当初は、「物流の発展」を一途に目指し、今日に至った次第でございます。5月18日には、創立40周年式典・祝賀会を開催し、多くの来賓並びに組合関係者にご臨席を賜り、大変感謝をしている次第でございます。誠にありがとうございました。

創立40周年を振り返って

川上 振り返ってみれば、山あり谷ありの道でございます。組合の理念として、「相互扶助」という言葉をよく耳にしますが、当組合の特色として組合旅行や青年部活動（教育研修事業）がございます。組合旅行は、年に一度程度予定を組んでおり、国内外へと遠いところでは、香港、マカオなどにも行きました。毎年楽しみとしていらっしゃるようです。また、青年部活動は、発足してから38年が立ちます。青年部時代に学んだ後継者は、今では社長となっております。さらには、当組合の幹部ともなっています。あの時、一緒に旅行をした。あの時、一緒に学んだ。そのような仲間が今、組合を支えているわけでございます。みなで助け合って、みんなで発展していく、相互扶助の成果が組合活動を通じたことの現れであり、よかったですと感じております。

業界を取り巻く環境について

川上 国内のトラック運送は、全輸送の9割を占めています。昨今の「2024年問題」や「燃料高騰」、「ドライバー不足」と…多くの課題がございます。原油価格動向、GDP、人口推移動向など、どれをとっても我々だけで

はどうすることもできない部分もあります。この先、この業界がどうなっていくのか一層の見極めが必要となってきますね。

今後の取り組みについて

川上 先日、中央会さんの力をお借りしまして、ホームページとPR動画を作成しました。ホームページでは、人材募集について「見える化」を図ることを目標とし、今後内容を充実させる予定でございます。また組合員たちが「働きやすい環境づくり」にも調査、研究を進めて参りたいと思っております。

最後に

川上 物流に携わるものは、全国各地へモノを運び、そして全国各地から地元へモノを日夜問わず毎日運んでおり、公共的役割を大きく担っております。しかしながら、先程も申し上げましたように、現在、多くの課題がございます。トラック輸送に置き換えれば、これからも多くの山や谷を、運行していかなくてはなりません。その時には皆様のお力添えがどうしても必要となってきます。また、常に多くの情報に接することが非常に大きな価値となってくると考えております。今後とも、どうぞよろしく願っています。

（文責・西尾浩一郎）



鳥取県西部トラック事業協同組合
住所 米子市流通町1381番地4
TEL 0859-27-5000
組合員 19名

中央会新会館建設の近況報告

本年1月から本格的にスタートした本会新会館の建設工事は、掘削工事等の基礎工事が終了。その後、鉄骨工事がスタートし大安吉日である5月21日上棟しました。今後は外壁工事等が進んでいき、次第に外観もよく分かるようになってくる予定です。



◀ 工事の状況

協同組合鳥取卸センター



理事長
盛田 真理 氏

住 所：鳥取市
設 立：昭和42年2月
組 合 員：20人
主な事業：団地の維持管理事業、福利厚生事業、
教育情報提供事業 ほか

新理事長 紹介

令和6年度通常総会で選任された
新理事長を紹介致します。

鳥取県西部再生資源事業 協同組合



理事長
稲田 祥悟 氏

住 所：西伯郡伯耆町
設 立：平成5年11月
組 合 員：4人
主な事業：共同購買事業、
資源再生利用に関する事業 ほか

協同組合米子中央食品卸売団地



理事長
畠山 広幸 氏

住 所：米子市
設 立：昭和52年7月
組 合 員：17人
主な事業：共同購買事業、施設の設置及び管理、
福利厚生事業 ほか

鳥取木材協同組合



理事長
門脇 義樹 氏

住 所：鳥取市
設 立：昭和24年12月
組 合 員：13人
主な事業：教育情報事業、福利厚生事業 ほか

境港工業協同組合



理事長
遠藤 賢 氏

住 所：境港市
設 立：昭和49年8月
組 合 員：3人
主な事業：工場の共同利用事業、共同受注事業、
教育情報提供事業 ほか

環境変化を乗り越え、生産性の向上に 繋げていくための取組がポイント

中小企業白書(抜粋)

第2部 環境変化に対応する 中小企業

■人への投資と省力化

① 人材の過不足状況

中核人材と業務人材の過不足状況について見ると、いずれにおいても半数以上の企業が「不足」と回答しているが、中核人材については7割超の企業が「不足」と回答しており、業務人材に比べて不足感が大きいことが分かる。業種別に見ると、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」では中核人材、業務人材いずれについても約8割の企業が「不足」と回答しており、不足感が大きい業種といえる。また、中核人材と業務人材の差を見ると、いずれの業種においても中核人材の不足感が大きい、「卸売業」、「製造業」、「情報通信業」においては10%以上の差があり、業務人材に比べて中

核人材の不足感が特に大きいことが見て取れる(図1)。このことから、業種によって、求める人材の質に違いが生じている可能性が示唆される。

② 人材の採用

新卒採用、中途採用の実施状況を見ると、直近3年間において、新卒採用は4割程度、中途採用は8割程度の企業が「行った」と回答している。自社に必要な人材像をイメージした人材戦略を考えながら、どのような人材の採用を行っていくかを検討し、適切な採用方法を選択することが重要といえる。企業規模別の主な採用形態を見ると、中小企業は「中途採用メイン」と回答する企業が6割であり、中小企業の主な採用形態は中途採用であることがうかがえる。また、中小企業のうち小規模企業に絞って見ると、「中途採用メイン」と回答する割合がより高くなっており、規模の小さい企業では中途採用で即戦力を求めている傾向にあることが分かる(図2)。

③ 多様な人材の活用

シニア人材の活用状況については、内部のシニア人材の活用が進む一方、外部のシニア人材の活用があまり進んでいない状況が分かる。活用場面について見ると、内部のシニア人材、外部のシニア人材いずれも「人材育成」、「業務効率化」などのために活用している企業が多いことが見て取れ、熟練工などのシニア人材が育成の場面で活躍している状況などが考えられる。

外国人労働者の活用状況については、活用していない企業が7割超と大半を占めるが、「外国人技能実習生」、「専門的・技術的分野」、「資格外活動を許可された労働者」などの外国人労働者を活用している企業もそれぞれ一定数存在しており、今後更に拡大していく可能性が考えられる。

■中小企業の成長

① 成長に向けた設備投資

中小企業における設備投資は増加

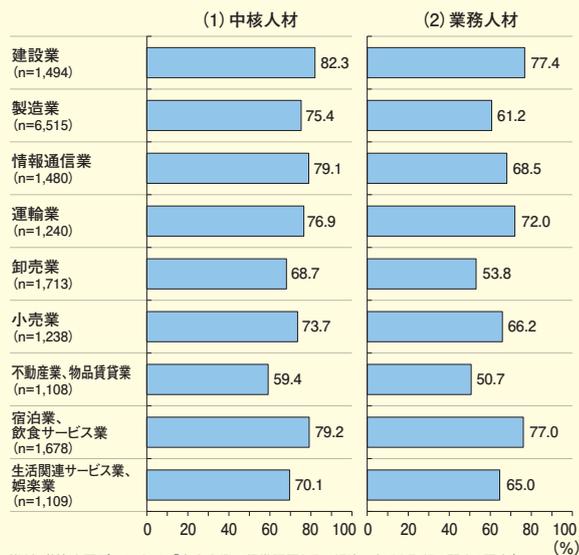
傾向にある。「安定した経済成長を実現するために、企業の生産性を向上させるような設備投資が質的にも量的にも求められていると思われる」とも指摘されているように、設備投資は成長にとって重要な取組である。

直近3年間程度における成長に向けた設備投資の実施状況について見ると、感染症の感染拡大以降、4割程度の企業が成長に向けた設備投資に取り組んでいることが分かる。業種別に見ると、「実施した」と回答した割合が最も高い業種は「宿泊業」であり、次いで「製造業」、「運輸業」となっている。これらの業種は、サービスの提供や製品の製造、サービス品質や生産性の維持・向上において、定期的な設備の取得・増強・更新が必要であることが推察される。

② 成長に向けたM&A

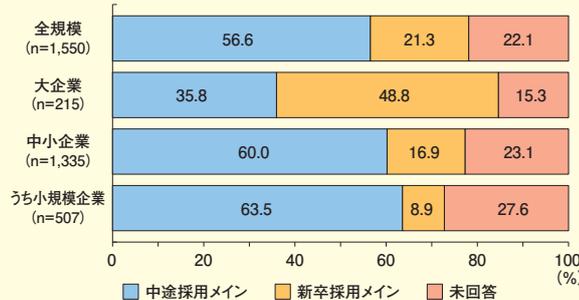
我が国企業のM&A件数の推移を見ると、M&Aの件数は近年増加傾向で推移しており、2022年には過去最多の4,304件となった。足

(図1) 人材の不足状況(業種別)



資料：(株)帝国データバンク「中小企業の経営課題とその解決に向けた取組に関する調査」
 (注)中核人材・業務人材の過不足状況について、「不足」と回答した企業について集計したもの。

(図2) 主な採用形態(企業規模別)



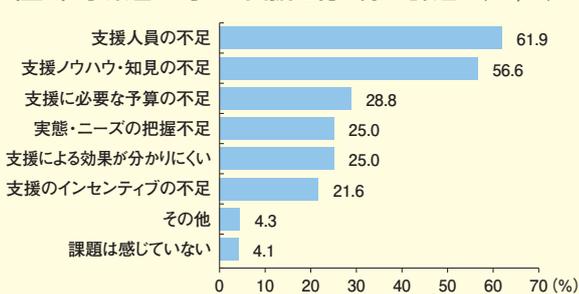
資料：(株)帝国データバンク「企業が求める人材像アンケート」(2022年9月)
 (注)1. 企業規模区分は中小企業基本法に準拠する。2. 小規模企業は中小企業の内数として集計している。

(図3) M&A件数の推移



資料：(株)レコフデータ調べ

(図4) 事業者に対して支援を行う際の課題 (n=2,079)



資料：EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)「中小企業支援機関の現状と課題に関する調査」
 (注)複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

下の2023年は前年に比べ減少したが、4,015件と高水準となっている(図3)。これらはあくまでも公表されている件数であるが、M&Aについては未公表のものも一定数存在することを考慮すると、我が国におけるM&Aは更に活発化していることが分かる。

また、効果について見ると、「他社事業の譲受・買収」については、「売上高の増加」が最も多く、次いで「市場シェアの拡大」、「人材の獲得」となっていることが分かり、成長につながる効果を実感している様子がうかがえる。「自社事業の譲渡・売却」については、「事業継続」が最も多く、次いで「雇用の維持」、「売上高の増加」とな

① 支援機関の課題

支援機関を活用することは事業者の業績面にも好影響をもたらす可能性があり、事業者にとって支援機関の存在は今後も重要になると考えられる。一方で、支援機関が今後、事業者を支援していくに当たっては課題も存在する。(図4)は、支援機関が事業者に対して支援を行う際の課題に

■ 中小企業・小規模事業者を支える支援機関

つていることが分かり、買収先との経営統合により、事業維持に加え、成長を実現している企業も存在することが見て取れる。

ついて見たものである。これを見ると、「支援人員の不足」や「支援ノウハウ・知見の不足」を課題として挙げる割合が高い。

事業者が抱える経営課題全般に対する支援相談を行う相談員の過不足状況について見ると、支援機関全体としては、半数以上が「不足」と回答している。また、支援機関属性別に見ると、「金融機関」、「商工会・商工会議所」、「税・法務関係士業」の順に「不足」と回答する割合が高くなっており、これらの支援機関において特に人手不足が実感されている様子が見える。

② 支援体制の強化に向けた取組

事業者から寄せられる相談内容のジャンルが広がる一方で、支援機関は人手不足や支援ノウハウの不足といった課題を抱え、相談員にかかる業務負担が増加している様子が見えがえた。このような状況の中で、支援機関においては組織的に支援能力を高めていくことが重要になると考えられる。相談員の支援能力向上に向けた取組の実施状況について見ると、いずれも「取組を実施している」と回答する割合が7割を超えている。特に「研修(社外を含む)の受講推進」は9割を超えている。支援機関の大半が、相談員の支援能力向上に取り組んでいることが分かる。

情報連絡員だより

5月

物価高騰、価格転嫁に苦慮し 先行きは不透明

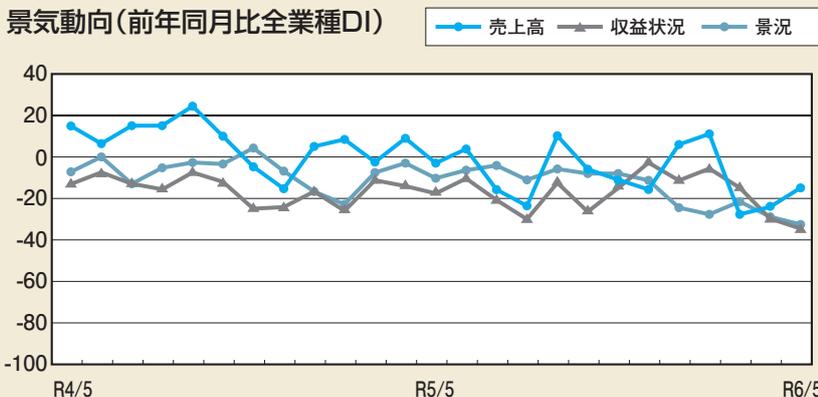
大型連休による人流増加も 収益改善には至らず

～景況DI値は、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス34.2～

全業種景況DI値は、前月比10.5ポイント低下のマイナス18.4、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス34.2となった。製造業では、大型連休が絡んだことで一部業種に受注量の減少が見受けられた。また、多くの業種で原材料等の高騰による収益の悪化が続いているうえ、価格転嫁に苦慮しており業況は厳しい。非製造業では、大型連休にかけて人流が大幅に増加し、観光関連を中心に売上高は増加したものの、連休明けは人流が落ち着きを見せたことで前年同月比の収益状況の改善には至らなかった。県内景況は、引き続き原材料及び仕入価格等高騰の影響による経費負担の増加が継続しているうえ、価格転嫁にも苦慮しており不透明な状況が続いている。また、ガソリン価格の高騰により運送関連を中心に収益の悪化が深刻となっているうえ、人材確保難や物流の停滞など問題が山積しており、厳しい状況が継続している。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

景気動向(前年同月比全業種DI)



製造業

【食料品】 過度な円安が続く、小麦粉等の原材料やLPGなどエネルギー価格の高騰がネックとなり収益を圧迫している。味噌・醤油関連では、県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が出てきている。
【繊維・同製品】 暖冬の影響が残っており業界全体で

需要が冷え込んでいる。秋ごろまでの状況が続くことが予想される。

【家具・装飾品】 多くの商品で値上げの動きもあり、消費マインドも冷え込んでいる状況。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量は前月比で微減、前年同月比で減少となった。製材品および合板の生産量は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。素材については昨年来の需要の減少と伐採に不適な時期であることもあり出材は少なく、特に小径丸太が不足している状況。プレカット加工の稼働率は、前月比120%増加、前年同月比は45%減少で推移した。

【紙・加工品】

円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。

【印刷】

鳥取県の印刷業界は、経済の再開と夏季に向けた事業活動が活発化しているものの、原材料の価格高騰や、効率的な予算運用の困難さに直面している。デジタル化の進展に伴い、オンラインプレゼンスの重要性が増しており、地域密着型サービスの提供が業界の持続可能な成長を支える鍵となっている。

【窯業・土石製品】

5月の生コン出荷量は、前月比で約2%減少、前年同月比で約10%増加となった。東部地区では昨年夏の豪雨被害への災害復旧工事案件が増えつつあるが、多現場、少量出荷、小型車中心

とコストが高くメリットが薄い。西部地区では防衛省関連、米子道4車線化のトンネル工事が中心で、前年並みを維持している。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

建築関係は、県内物件は中西部では受注を確保できている会社があるものの、東部は少なくなっている。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。機械加工は、大型連休が明けてから自動車関連に活発な動きが見られた。短納期が重なり各社が納期対応に四苦八苦している。工作機械関連は引き続き厳しい状況。

【鉄骨加工】

物件の量が少なく安値での受注となり、結果として加工業者側が負担するなど、利益圧縮となり厳しい状況。また、人件費、運送、溶接材料、ガスなどの価格が軒並み上昇しているものの、価格転嫁には至っていない。

【金属熱処理】

受注量は大型連休の影響もあり前月比では減少となったが、前年同月比では増加した。目立った顕著な動きもなく業界全体が低迷から脱しないままである。報道による景気回復と県内の景気に乖離があり、電気料金等のエネルギーコストの負担は依然として大きい。

【電気機械器具】

材料の供給は安定しているものの、増産の傾向は見受けられず、依然として先行きは不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

青果関係では、取扱数量は前月比、前年同月比とも減少となった。売上高は単価の上昇により前月比、前年同月比とも増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比とも減少、売上高も前月比、前年同月比とも減少となった。取扱数量の減少が続いており、水産業は厳しい状況となっている。仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。5月の巻き網は大型連休明けからイワシ、サバの豊漁が続く、昨年を上回る水揚げとなった。冷凍物の荷動きは順調であるものの、冷蔵庫の処理、保管能力の限界から一定の漁獲量制限が続いている。天然本マグロは例年より早く21日に始まり順調に水揚げが続いている。紅ズワイガニは漁期の終盤を睨み、出港調整もあって水揚げ量が30%程度減少し、若干浜高相場で推移した。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、5月度は連休中の客足も一定程度戻り、昨年に対し集客、売上ともに増加しているものの、原材料、仕入価格の高騰、人件費の増加等の要因で収益を圧迫している。物価の上昇に伴い商品、サービスの価格も上昇しており、客離れを起こし売上の低迷につながっている。倉吉市の商

店街では、好天が続くも商店街への人流は少なかった。商店街近辺の白壁土蔵群には大型連休中観光バスが増加したものの、商店街への回遊につながらなかった。米子市の商店街では、前年に比べ大型連休の集客も増え、連休期間には順調に推移した。下旬は冷え込む日もあり、人流は減少した。

境港市の水産物小売では、5月21日からマグロの水揚げが始まり、一般消費者からもマグロに関する問い合わせが増加した。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、大型連休には観光客の入込数が大幅に増加した。車の大渋滞が発生したことで観光客の動きが悪く、来店客の増加につながらなかった。連休後の観光客の入込数は減少し、結果的に売上高は前月比で増加、前年同月比は減少で推移した。米子市のホテル・旅館では、大型連休の影響もあり売上高は前月比、前年同月比で増加、販売価格も上昇し、収益状況も前月比で増加した。三朝温泉では、大型連休に入り多くの観光客で賑わったものの、大型連休が明けると集客は大幅に減少し、旅館も目立ったインバウンド客も徐々に増加してきている。羽合温泉では、5月の宿泊は前月比で6割程度増加したものの、前年同月比では2割強の減少となった。

【自動車整備業】

新車の販売は普通車・軽自動車を含めて1,661台で前月比は普通車4

%の減少、軽自動車約7%の増加、前年同月比は普通車約4%、軽自動車約9%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて652台で前月比約22%減少、前年同月比約4%の増加となった。継続検査(軽自動車を含む)は15,097台で前月比約1%、前年同月比約3%の増加となった。

【建設業】

4月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額138億円(前年同月比24.3%増)、件数222件(同30.6%増)となった。公共投資は前年同月比プラス基調となるも、設備投資は単月、3か月平均ともに大幅なマイナスとなった。住宅投資は持ち家系を中心になお弱い動き。物価の上昇に価格転嫁が追いついておらず、収益は悪化傾向が継続している。

【運輸業】

5月の物流は、売上高は前月比、前年同月比ともに減少しており非常に厳しい状況が続いている。物価の上昇による消費の落ち込みにより荷動きが低調な上、長引く燃料価格の高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。燃料価格については、僅かながら減少となった。また、「2024年問題」の影響により受注は減少傾向となっている。業界全体として恒常的な人員不足が深刻となっており物流の停滞に起因している。

(情報連絡員 38名)

建設業における2024年問題への対応



研修会の様子

鳥取県鉄筋協同組合(理事長・森本泰司氏)は、本会連携組織活性化サポート事業を活用して、5月24日、鳥取市「白兔会館」において研修会を開催した。

研修会では、「建設業における2024年問題への対応」をテーマにリーチ社会保険労務士事務所・代表・西山理一特定社会保険労務士を講師として、建設業界の働き方改革の実現に向けた労働時間の管理方法や人材活用について示唆を受けるとともに、時間

外労働の上限規制に対応するための適正な工期設定や労働時間の適正管理、若手を中心とする幅広い人材を活用するための業務標準化、またトップの本気度、意識改革、業務改善、制度整備を含めた働き方改革成功のために必要な事項等について説明を受けた。

参加者からは、「2024年問題についてとても参考となった」「必要なテーマだと感じた」といった声があり、働き方改革に反映する有意義な研修となった。

(組織支援部 上根)

創立50周年記念 米子ドリウムランタンナイトを開催!

鳥取県西部中小企業青年中央会(会長・中村友紀氏)は、5月25日、米子市「湊山公園」において、「米子ドリウムランタンナイト」を開催し、約800基のカラフルなランタンが夜空を幻想的に彩った。

このイベントは、県西部中小企業青年中央会が創立50周年を記念して初めて企画したもので、約1万人の来場があった。会場にはグルメ、体験ブースが並び、地元の子供たちを中心

としたダンスチームによるダンスショーなどが繰り広げられた。また、別会場にて「大山お地蔵様フェスティバル作品展」も開催された。

打ち上げでは、参加者が願い事を書いた短冊を貼り付けたヘリウムガスとLEDライトの入ったランタンを、カウンタダウンに併せて斉に夜空に放ち、幻想的な灯りに会場からは歓声が上がった。

中村会長は「多くの市民と



イベントの様子

ともに夜空を見上げ、50周年を祝うことができ良かった」と話すなど、とても有意義なイベントとなった。

(米子支所 西尾)

魚市場の今後の在り方を学ぶ

賀露鮮魚仲買協同組合(理事長・網浜昇氏)は、本会連携組織活性化サポート事業を活用して、北海道札幌市「札幌中央卸売市場」、「札幌二条市場」、茅部郡森町「JF砂原漁業協同組合」への視察研修会を行った。

近年、温暖化の影響で九州方面からの水揚げは芳しくなく、北方面の漁場に多く魚介類が集中している。そうしたなか、昨年北海道でオオズワイガニが大量発生し、雌ガニ(親ガニ)を鳥取で販売を行った。このたびの視察において北海道の魚介類の販売状況を把握するとともに今後の漁の動向や、現在の状況、魚の処理の仕方などを学ぶため視察を行った。

札幌中央卸売市場では海産物の宝庫である北海道の中央卸売市場を視察。鳥取で売れる魚種の研究や、販売方法を学んだ。また、北海道市場とのつながりを持つことで情報共有を図り、仕入れルートの拡大や水産物の販売拡大へとつなげていく。

JF砂原漁業協同組合では、生産者市場を見学。担当者より現在の前浜の状況を聞くと

もに、仕立て方、販売の仕方など意見交流を行った。

また、札幌二条市場では、一般消費者を対象とした市場を見学し、接客などの販売の形式、陳列方法などを学んだ。

参加者からは、「北海道近辺の魚介類の動向をはじめ魚の処理方法を学び鳥取で可能な方策を模索していきたい」「今回の研修で仕入れルートの拡大や水産物の販売拡大を考えるうえで県外との交流をもつ機会は重要であると感じた」「近隣の『かろいち』との連携により効果が得られる事業を模索していきたい」といった声があり、組合の新たな取り組みを模索・検討していく姿勢が伺え、有意義な研修となった。

(事務局長 徳田)



視察の様子

新会長就任の挨拶

Tottori to the World!



鳥取県中小企業団体中央会青年部
会長 岡空 聡氏

この度、安田会長の後任として拜命をいたしました。鳥取県青釀会に所属しております、岡空聡と申します。

昨今の時代の流れは本当に早く、世界の中で日本が取り残されないためにも、今こそ日本人が日本の魅力を再認識して、世

界へと発信をしていくべきだと感じております。

本年度本県中央会青年部は、大きく若返りを図り、業界の枠を超えてともに学び、所属する組合、企業、組織のさらなる発展を目指してまいります。

まずは、鳥取県内に所属する

女性の英知と活力を中小企業に



鳥取女性中央会
会長 濱口 正子氏

この度、第36回通常総会にお

いて、会長に就任致しました中部の濱口正子と申します。歴代の役員・会員の皆様が築かれた歴史と伝統を継承し、会員の皆さまのご協力を賜りながら一人一人がさらに輝ける魅力ある会へ築いて参りたいと思っております。

ます。

コロナの終息から早、2年目となります。まだまだ安心はできません。

今は未曾有の時代、自然災害、未知のウイルスとさまざまなか

とが起っています。

時の流れは早く、情報過多で

もあります。

事業をしている私達も、今以上に勉強が必要となります。

鳥取県東部・中部・西部の幅広い地域で、お互いの情報を共有し、会員同士の交流を深め、今の鳥取女性中央会に何が出来るか、出来る事から会員の皆様と共に考え活動していきたいと思っております。

微力ではございますが尽力して参りますので今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

職域サポート契約 締結先の従業員の皆さまへ

職域サポート契約をご契約いただいた事業所にお勤めの皆さまに、金利優遇商品をご提供いたします。



- 特典① 職域サポート定期積金 金利上乘せ
- 特典② 職域サポート専用の各種ローン (教育・マイカー・リフォーム・フリー・サポート「絆」)

とつと

カーライフプラン プライム (WEB完結)



最高1,000万円まで 最長10年
他社自動車ローンのお借換えもOKです。

フリーダイヤル
0120-267-104
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祭日・振替休日・年末年始は休みです)

WEBで完結！
お申込みはこちらから



くわしくは、最寄りの店舗または、ホームページ、フリーダイヤルにお気軽にお問い合わせください。

ふれあい大好き
鳥取信用金庫
https://www.shinkin.co.jp/torishin/

令和6年度 雇用保険料率のご案内

◆ 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりです
(令和5年度と同率です。)

- 失業等給付等の保険料率は、労働者負担・事業主負担ともに引き続き6/1,000です。
(農林水産・清酒製造の事業及び建設の事業は7/1,000です。)
- 雇用保険二事業の保険料率(事業主のみ負担)も、引き続き3.5/1,000です
(建設の事業は4.5/1,000です。)

<令和6年度の雇用保険料率>

事業の種類	負担者		失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率	雇用保険二事業 の保険料率	① + ② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付・育児休業 給付の保険料率のみ)	② 事業主負担			
一般の事業	6/1,000	9.5/1,000	6/1,000	3.5/1,000	15.5/1,000
(令和5年度)	6/1,000	9.5/1,000	6/1,000	3.5/1,000	15.5/1,000
農林水産・ 清酒製造の事業 [※]	7/1,000	10.5/1,000	7/1,000	3.5/1,000	17.5/1,000
(令和5年度)	7/1,000	10.5/1,000	7/1,000	3.5/1,000	17.5/1,000
建設の事業	7/1,000	11.5/1,000	7/1,000	4.5/1,000	18.5/1,000
(令和5年度)	7/1,000	11.5/1,000	7/1,000	4.5/1,000	18.5/1,000

(枠内の下段は令和5年4月～令和6年3月の雇用保険料率)

※ 園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については一般の事業の率が適用されます。

厚生労働省鳥取労働局委託事業 「高齢者活躍人材確保育成事業」

シルバー人材センター

仕事募集中

臨時的、短期的、軽易な仕事を請負(派遣)います。

シルバーは、知識
経験、技能の宝庫です。



お問い合わせ、お仕事のご依頼は、地元のシルバー人材センターへ!

(公社)鳥取市
0857-22-0050

(公社)智頭町
0858-75-0170

(公社)倉吉市
0858-22-0870

(公社)湯梨浜町
0858-35-4130

江府町
0859-75-2942

(公社)岩美町
0857-72-2511

(一社)八頭町
0858-72-3351

(公社)琴浦町
0858-52-1001

(公社)北栄町
0858-36-6220

三朝町
0858-43-1883

日南町
0859-82-0223

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地

URL <https://www.torisilver-ren.com>

TEL0859-37-2531 FAX 0859-37-2537



(公社)境港市
0859-47-4540

(公社)大山町
0859-53-4787

(公社)米子広域
(米子市,日吉津村)
0859-32-2633

(公社)南部広域
(南部町,伯耆町)
0859-66-4011

新規高等学校卒業生の
県内就業に向けた
取り組みにご協力を！

6月3日、鳥取県、鳥取労働局、鳥取県教育委員会は共同で、新規高等学校卒業生の県内就業に向けた取り組みの要請を、本会を含む経済4団体に対して行われました。若年労働力の減少が進む中、一人でも多くの若者を地元の事務所で正社員として雇用し、将来の本県産業を担う人材として育成・定着させていくことは、鳥取県の未来をひらく上で必要不可欠であります。

会員の皆様におかれましても、教育訓練の機会の提供による人材育成、働きやすい職場環境の整備、生産性向上と賃上げ、適正な人事評価等による処遇の向上など、魅力ある雇用の場の創出に向け御尽力いただくとともに、若者の県内就職の促進に向けてご協力いただきますようお願いいたします。



要請活動の様子

中央会・組合の 7月 行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
5	金	連携組織活性化サポート事業 13:30 (対象:鳥取市上水道事業(協)) 川西水道機器
6	土	西部青年中央会総会卒会式 13:00 50周年記念式典祝賀会 17:00 米子コンベンションセンター
16	火	中部青年中央会通常総会 18:00 50周年記念式典祝賀会 19:00 倉吉シティホテル
26	金	連携組織等DX対応支援事業・第2回専門家派遣 12:00 (対象:(協)鳥取卸センター) 組合事務所
27	土	東部青年中央会通常総会 14:00 50周年記念式典祝賀会 15:30 ホテルニューオータニ鳥取
29	月	県青年中央会通常総会 17:15 祝賀会 18:00 倉吉シティホテル

※組合等の行事を情報交換の場として組合活性化情報「中小企業ととと」に掲載しておりますので、組合での行事等がございましたら本会までご連絡下さい。
※6月20日時点で把握している情報を掲載しています。

7月の倉吉出張所相談日のお知らせ

2日(火) 9日(火) 16日(火) 23日(火) 30日(火)

編集後記

夏本番に入り、次第に窓を開けるだけでは耐えられない気温になってきました。私は電気代を気にして、ついエアコンの利用をためらってしまいます。今年の夏も昨年同様の暑さになると予想されていますので、熱中症にならないよう節約しながら使用したいと思います。

7月は海開きやBBQ、ピヤガデン、花火など夏のイベントが始まる時期になり、楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。その一方で、水難事故や火災も多くなります。細心の注意を払いながら楽しみましょう。
(ナゴシ)

つながる ひろげる 連携の架け橋
～ 幸せ紡ぎ 新しい未来へ～

第76回 中小企業団体全国大会
福井大会

日時 令和6年(2024)
10月24日(木)
13:40～16:30

会場 フェニックス・プラザ
エルピス大ホール
(福井県福井市田原1丁目13番6号)

参加料 1人あたり 6,600円

主催 全国中小企業団体中央会
福井県中小企業団体中央会



大樹のように とことん安心
大樹のように もっとよりそう
大樹のように ずっとずっと見守るよ
大きな安心 お届けします

大樹生命保険株式会社 <https://www.taiju-life.co.jp/>

山陰支社 〒680-0845 鳥取市富安1-18 NTTコミュニケーションズ鳥取南ビル4F TEL:0857-22-5753
鳥取営業部 〒680-0845 鳥取市富安1-18 NTTコミュニケーションズ鳥取南ビル3F TEL:0857-26-2513
倉吉営業部 〒682-0021 倉吉市上井359-9 松井ビル1F TEL:0858-38-2205
米子営業部 〒683-0802 米子市東福原1-1-22 米子ウエストビル1F TEL:0859-34-2518

中小企業とつとめ 令和6年7月1日

発行人 鳥取県中小企業団体中央会

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96

TEL(0857)26-6671(代)・FAX(0857)27-1922

倉吉出張所 〒682-0887 倉吉市明治町(倉吉商工会議所内)

TEL・FAX(0858)22-1706

米子支所 〒683-0823 米子市加茂町(米子商工会議所5階)

TEL(0859)34-2105・FAX(0859)34-6441

URL <https://www.chuokai-tottori.or.jp>

E-mail honbu@chuokai-tottori.or.jp

毎月1回1日発行 日ノ丸印刷株式会社 印行
購読料 1部 70円 TEL(0857)22-2248(代)
(会員の購読料は会費に含まれています)